

森林の多様な効用を維持・活用・継承する活動



NPO法人 ハヶ岳森林文化の会

NPO法人 八ヶ岳森林文化の会 沿革

- 平成14年 茅野市の一般市民団体として設立
八ヶ岳山麓の自然観察と森林保全活動を展開
- 平成17年 茅野市に「市民の森」づくりを提案
- 平成19年 当会の活動フィールドである吉田山が
「市民の森」としてオープン
- 平成22年 NPO法人化

森の持つ多様な効用を市民が享受できる健全な
森の再生活動を一般市民と共に推進し、現在に至る

- ・ 組織 : 森づくり部会、森林観察学習部会、
森林整備事業部 事務局
- ・ 会員数 : 100名（平成25年度）

茅野市 「市民の森」



国宝 縄文のビーナス



吉田山と棚畑遺跡



森林整備活動について

活動の狙い

荒廃の進んだ森を再生し、森の効用を市民が享受できる環境を取り戻す。

具体的活動

「市民の森」約200haを年間6乃至7haの割合いで、除伐間伐、集材、搬出作業を実施

成果

「市民の森を創る会」のグランドデザインを基に、赤松を中心とした林、カラマツが中心の林、コナラが中心の林、檜が中心の林、針広混交林等のゾーニングが進み、当初の狙いが成果として表れてきている。



森林整備活動

4月～11月 2回／週



市民の森 散策路 マップ



コナラ林



カラマツ林



檜の林



赤松林

森林観察と保全活動について

活動の狙い

森を知ること、森を守ること、環境を守ることに繋がる意識を一般市民と共有すること。

具体的活動

野鳥の観察会、樹木の観察会、昆虫・小動物の観察会、野草の観察会を一般市民の参加を得て定期的に実施

成果

成果を「市民の森に集う」ハンドブックに集大成し、一般市民にPR
身近な森の状況の理解と森への親近感の醸成に貢献している。

「オオムラサキ」の卵から、成虫に至る生活史を経過観察でき、この森が「オオムラサキ」の生息域であることが確認された。

絶滅危惧種 2種の草花群落の発見と合わせ、この森の環境保全処置を模索中である。

市民の森 早春の観察会（野鳥観察）



市民の森 春の観察会 山菜の観察



市民の森 秋の観察会 樹木ときのこの観察



市民の森 月例観察会 1回／月



樹木への名札懸け

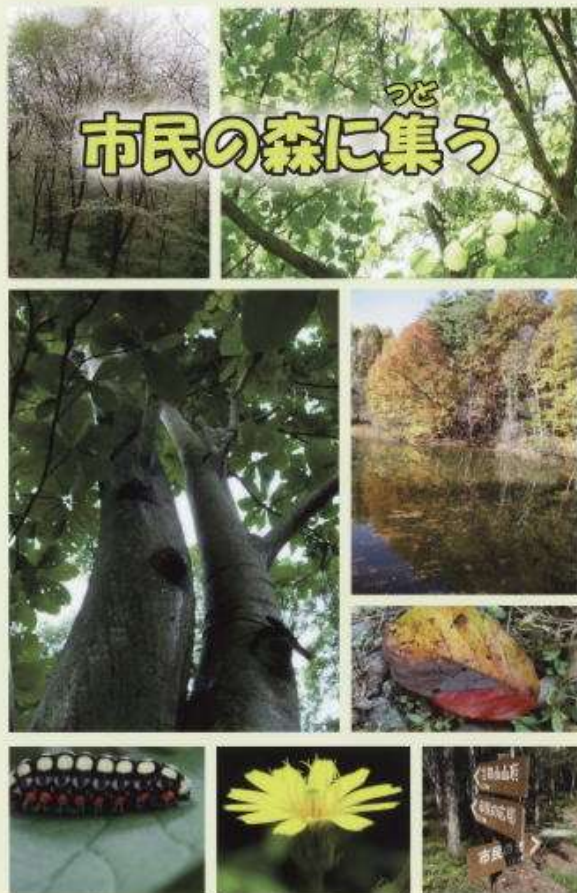


山野草 昆虫類 小動物の生息調査（定点観測を含む等）

間伐地等の森林遷移の調査

茅野市 「市民の森に集う」ガイドブックの刊行

茅野市 市民の森 ガイドブック



NPO法人 ハケ岳森林文化の会

2012年4月 刊行（県 元気づくり支援金による）

内容

市民の森での活動（森開き、育林祭、中学生総合学習 森づくり講習会、各種観察会等）

市民の森(吉田山) の今昔

市民の森の生き物

市民の森の植物ガイド

カラー版 ポケットサイズ 144P

入手方法： 茅野市 生活環境課 無料

オオムラサキの生活史

卵 2012. 8



食草はエゾエノキ

幼虫



抜け殻

マジックテープの仕掛けと同じ



飛翔



サナギ



越冬した幼虫
2013. 5



森林資源の活用について

活動の狙い

森林の荒廃は身近にある森林資源の活用の停滞がその要因であることを認識し、森林資源の活用意識の市民への浸透を図ること。

具体的活動

- ・ 伐木技術講習会
- ・ 薪づくり講習会
- ・ 炭焼き講習会
- ・ きのこと菌打ち講習会
- ・ 製材講習会
- ・ チップづくり講習会
- ・ 間伐材活用見学会

成果

森林整備作業機器類の扱い習得者が増え、市民自ら森林資源を活用する機会が増加している。

各種講習会を通して森林への親近感が醸成されている。

(各講習会への参加者募集で定員に達する期間が短縮している。)

伐木技術講習会



薪づくり講習会



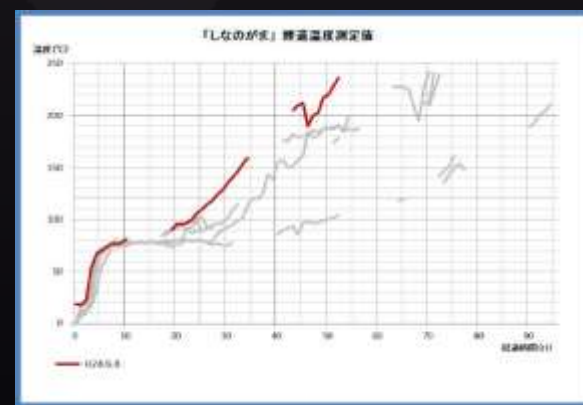
炭焼き講習会： 集材から製炭まで

材料：コナラ

製炭率 約20% (200Kg)

木酢：約40ℓ

用途：BBQ等の燃料、畑への敷込み、
木酢は殺虫、中和等



きのこ櫓木 原木づくり



きのこ菌打講習会



ウッドチップ製造講習会



製材講習会



森林・林業・里山・森林文化の学習会活動

活動の狙い

森林とは？林業とは？里山とは？をある程度正確に理解すること。
森林資源のエネルギーへの活用意識の高揚を図ること。

具体的活動

- ・一般市民を対象にテキストによる学習会を2回／月の割合で開催（2時間／回）：輪講形式で講師は参加者の順番性
- ・専門講師によるフィールド学習・講演会等を実施

使用テキスト

- ・森林インストラクター養成講習テキスト選集
- ・グリーンセーバー ベーシック、アドバンス、マスター
- ・図解 樹木の診断と手当
- ・里山の環境学

成果

森林インストラクター資格取得（合格者2名、更に数名挑戦中）
観察会のリーダー・ガイドの知識深化に貢献
当初参加者5名から現在参加者15名に増加

今後の活動と課題

活動の質の向上と活動成果の刈り取りが課題

当会の活動が多くの市民に理解され定着し、次の世代へ継承されてゆくために 以下を重視して活動推進してゆく。

- ・ 各種観察活動・調査手法の科学的裏付け
- ・ 各種活動成果のデータ化と蓄積・公開
- ・ 森林整備活動後の森林遷移の継続監視